

令和元年度 実施事業の概要

施設名: 国立妙高青少年自然の家
教育事業名: 幼児キャンプ 2019
期間: 夏キャンプ: 令和元年8月16日(金)～8月18日(日) (2泊3日) 冬キャンプ: 令和2年1月24日(金)～1月26日(日) (2泊3日)
対象及び参加人数: 4、5歳児の幼児とその家族 夏: 15 家族 50 名 冬: 16 家族 37 名
目的: 幼児の自然体験機会、基本的生活習慣の育成、社会性の育成 保護者の子育て支援 保育士の資質向上 学生ボランティアスタッフの資質向上
事業概要: 幼児期における自然体験活動の機会として、全国の幼児(4、5歳児)とその保護者を対象に夏・冬の年2回実施した。 夏: 森遊びや野外炊事、キャンプファイヤーや源流探検などを行った。 冬: 雪上運動会、雪灯籠づくり、雪上オリエンテーリングなどの雪遊びや餅つきを行った。
成 果 ① 初めてのことや難しいことにも挑戦しようとする幼児の姿が多くみられた。 ② グループでの活動時には幼児だけで話し合いをする場面が見られた。 ③ 保護者と妙高市園指導主事、施設担当職員が参加した情報交換「おしゃべりカフェ」では、キャンプ中の幼児の様子を通して、日々の幼児の姿、保護者の思いを共有することができた。 ④ 妙高市内の園保育士が企画や運営に携わったことで、保育士自身の自然体験活動にかかわる指導・支援の資質が向上した。 ⑤ 学生ボランティアスタッフが活動支援の補助を行ったことで、幼児とのかかわり方などを実体験を通して学ぶことができた。
     
課 題 ① 幼児のみの宿泊を夏キャンプにおいても実施する(令和元年度は冬キャンプのみ実施)。 ② 夏・冬キャンプのねらいの明確化とねらいに即した活動内容の構成。